

ゆきちゃん通信

1999年5月30日

No. 2

発行人 tomi



担任のY田先生です。

やさしさときびしさを上手に使い分けてあつという間に由紀子の気持ちをしっかりつかんでしまわれました。

由紀子は《N子せんせい》と呼びます。

毎日の学校生活

由紀子のクラスは1年5組(特殊学級)ですが、毎朝、協力学級の1年3組に登校しています。(通学はまだ私(母)と一緒にです。)

その後、毎日1時間目に『生活』(生活科とはまた別です)という科目があって5組で生活訓練等を行います。

同じクラスの明日香さんに刺激されて、今まで苦手だった運動にも積極的に取り組めるようになりました。手押し車など、腕の力が弱い由紀子は以前は腰のところを支えてやらないとできませんでしたが、もう足首でも大丈夫になりました。

今は、バランスボードに挑戦中です。

そして、体育・音楽・生活科を交流授業として3組で、他の科目は5組で受けています。

絵本や、畑仕事の楽しさを、いっぱい経験させてもらっています。

3組にもたくさんのお友だちができました。

私が守りたかった由紀子のニコニコも健在です。



がんばったぞ！運動会

5月16日かんかん照りのお天気の中で福小の運動会が開かれました。由紀子の出番は「短距離走」、「だんご3兄弟」のダンスと「大玉ころがし」の3つでしたが、一番のときは準備体操として行われた「ラジオ体操」です。

毎日、Y田先生と練習しただけあって、完璧に動く事ができました。

(お母さんは競技の始まる前から泣いてしまいました。)

「だんご3兄弟」のダンスは予行練習のときに、ほとんど踊らずY田先生の厳しく叱られました。

練習のときにはきちんと踊れるのに違う環境の中で甘えて踊らなかった事を叱られたのです。

先生の気持ちが由紀子にも通じたのでしょうか、本番ではきちんと踊る事ができました。お尻を振る姿が本当にかわいかったです。

徒競争も大玉ころがしも、他の子どもさんとは比べ物になりませんが、由紀子なりに一所懸命がんばったと思います。

協力学級のお友達に囲まれて小学校はじめての運動会は無事に終わりました。

本当に **Very good!** (先生との合言葉です。) でした。

お昼からは疲れと眠気で泣いちゃったけれど、これは、どうぞお許し下さい。

☆編集後記☆

由紀子を育てていると、人との出会いの大切さを感じます。そして、由紀子には素晴らしい人を呼び寄せる力があるのではないかと思う事がよくあります。今回の出会いの相手はY田先生。叱るときの恐さは天下一品ですが、そのすぐ後でも、子どもが何かをやり遂げたときには、誰よりも嬉しそうに誉めてくれます。子ども達は敏感にこの先生のすこさを見ぬくのでしょうか。すぐに先生の事が大好きになります。そして叱られると、次ぎは誉めてもらおうとがんばるようです。運動会の予行練習の日のできごとです。

普段の練習の時には、上手に踊れるダンスを踊らなかつた由紀子を先生は厳しく叱っていました。その時、由紀子が先生の方を向いて「大嫌い！」と言いつつ放ったのです。我子にこんな気の強い所があったなんて、ビックリしました。家では何か気に入らないとすぐにパニックを起こして泣き叫ぶ子なのに、学校ではどんなに叱っても泣かないといえます。そして、運動会の当日にはそのダンスを立派に踊って見せてくれました。その後、テントの中にはニコニコの由紀子にキスをすするY田先生の姿がありました。当然ですが、由紀子はY田先生が大スキです。

ハウステンボスの旅

五島に転勤してから、家族そろって旅行した事のない我が家ですが、来年はネーネーが、大学生(?)として家を出ていく予定なので最後の家族旅行としゃれてみました。

由紀子にとってはちょっと退屈な場所だったかもしれないけれど、今回はお姉ちゃんたちが主役です。がまんがまん!

それでも、お父さんとお母さんと3人で乗った船や、パレードには目を輝かせていました。

そして、揺れる物が大嫌いな由紀子がメリーゴーランドに乗れた事は思わぬ出来事でした。

マーマーがパスポートを落としたり、高所恐怖症のお父さんが一大決心をして高い塔に登ったものの外のがのぞけなかつたり、やっぱり我が家らしい珍道中でした。



私、大きな風船が欲しかったのに買ってもらえなかつた! (-_-)